

第 3 回防災・防犯部会（R 元. 12. 16）における主な意見

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
1	島崎委員	<p>防災資機材の確保・充実で、スポットクーラー導入とのことだが、あくまでそれは応急対応だと思う。体育館へのエアコン設置の話があったと思うが、どうなっているのか。</p> <p>また、なぜ小学校が優先されなかったのか</p>	<p>本市においては、全中学校へのエアコン設置を進める予定であるが、現在小学校まで設置する話にはなっていない。</p> <p>また、中学校はクラブ活動等の熱中症対策もあると聞いている。</p> <p>なお、次年度、区独自でスポットクーラーを各小学校へ配備する。</p>
2	宮本委員	<p>地域の防災訓練参加者が減ってきているとともに、若い人の参加者が少ない。若い世代にも防災訓練に参加してもらえるよう広報紙やSNS等でもっとPRしてほしい。</p>	<p>これまで、地域の防災訓練の広報・周知は弱かったと思うので、今後は区ホームページも活用するなど広報・周知に努めていく。</p> <p>また、危機管理室のアドバイザーの助言も参考に、若い人が参加しやすい訓練内容について検討する。</p>
3	三野委員	<p>取組みによりめざす指標だが、安全・安心フェスタに何人参加すると防災に役立つ割合になるのか。</p> <p>また、地域で防災に対する知識をどれぐらいの人が持てば、共助を賄えるのか。</p>	<p>区の目標は、区民アンケートにおいて、避難場所の確認や災害の備えを行っている区民の割合 80%以上をめざしており、その割合を低下させないため取組みを継続している。</p> <p>安全安心フェスタは、子ども連れの家族が参加できる内容も含めて企画しており、先ず家族で自助や防災について考えてもらうことも主眼の一つに入れている。そこからの広まりを期待していることから、できるだけ多くの方の参加がいただける取組みとなるように進めている。</p>

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
4	田中委員	<p>実際の発災時は誰が集まれるか分からないため、避難所開設運営訓練は事前に役割を決めるのではなく、役割分担を決めるところから実施するべきではないか。また、災害レベルに応じた柔軟な避難所開設運営訓練も検討する必要があると思う。</p>	<p>各地域では、日頃から災害に備えて複数の方に役割を担っていただいております、その役割を基に避難所開設運営訓練を行なうことで発災時に班員全員が揃わない場合も想定した演習になる。なお、実施にあたっては他班の動きも見えるような訓練を行い、発災時に参集できない班があってもカバーができる体制を念頭に実施している。</p> <p>また、災害レベルに応じた訓練も必要と考えているが、現段階では、大阪府で想定されている直下型地震による建物等の倒壊被害に対する訓練から実施している。</p>
5	倉谷委員	<p>災害時、どこに避難すればよいか知らない市民の方が多いと思うので、町会単位でどこに避難すればよいか示しておいた方がよいと思う。そのためにも避難訓練に参加してもらう様にアピールを考えないといけないと思う。</p>	<p>基本的には、各町会単位で一時避難場所を設定され、そこから小学校に避難することになっている。それを知ってもらうためにも、地域の避難訓練に多くの方に参加してもらえるように、区ホームページ等を活用するなど周知について検討したい。</p> <p>また、危機管理室のアドバイザーの助言も参考に参加しやすい訓練内容について検討を進める。</p>
6	西村 部会長	<p>最近の災害ではよく想定外ということを知るので、鶴見区でも水害が想定されることから、ハザードマップはぜひ更新を進めてもらいたい。</p>	<p>ハザードマップの作成は、危機管理室にて行われており、その更新も予定されている。</p>

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
7	島崎委員	<p>街頭犯罪発生件数の減少をめざす取組みのひとつとして地域住民に情報発信が大事だと思う。</p> <p>「広報つるみ」に掲載されている鶴見区役所ツイッターのQRコードを読み込むことにより鶴見地域犯罪発生情報が得られる事を知らない人が多い。</p> <p>このQRコードを各町会の掲示板に掲示するのはどうか。また、注目されるような惹句も大事だと思う。</p>	<p>全戸配布である「広報つるみ」の2月号から、ツイッターやフェイスブックの詳しい紹介を行い、周知を図っていく。</p> <p>また、ツイッターやフェイスブック等の詳しい紹介とQRコードを掲載したちらしを作成し、各町会の掲示板への掲載依頼をするとともに区の広報板や各駅への掲示等も行っていく。</p>